



想いで写真 大船渡中学校 体育館（避難所）に展示

5月6日大船渡中学校体育館の避難場所で、2日目の写真展を開き、持ち主へお返ししたいとの願いで行った。

今日も「還暦の写真を見つけた」と喜んで頂いた。また、家族3人が津波の犠牲になった人のアルバムを見つけた。遠くに住む息子の住所を調べて

返そう等々、写真1枚にしても持ち主のドラマが隠されている写真であった。

大船渡地区の「思い出ハウス」 持ち込み写真等がいっぱい

大船渡中学校の写真展で、大船渡老人センター近くに、「思い出ハウス」とのプレハブがあり、その中に写真がいっぱいあると聞き、帰りに寄って見た。

ハウスの中には、がれきの中から見つけた色々の品物が、泥んこのままいっぱい重なって置いてあった。

この写真や品物は、持ち主に取っては宝であり、何とか持ち主へ返してやりたいものである。それにしても、プレハブを誰が建て、誰が「思い出ハウス」と命名したのだろうか。



仮設住宅入居者の交流・買い物不便解消へ

5月6日大船渡市役所の災害対策本部を訪問し、仮設住宅入居者の交流イベント（炊き出し等）開催と日用品の訪問販売業者の出店について相談してみた。



イベント等はその地域の公民館長と相談し、訪問販売業者は商工課へ相談する事にした。

復興ニュース N013 に記載の入居者の要望に応えようと、お店が遠くて不便、入居者同士が早く知り合いになるようなイベント開催に向けて動き出した。

災害ボランティアの宿泊場所

住田町世田米字下大股 66-1
大股地区公民館



5月6日午後、気仙市民復興連絡会の事務所に、陸前高田市災害ボランティア住田基地の運営班代表の南輝久さん（長崎県）と同運営班の海野恭二さん（神奈川県）が訪問され、遠くからのボランティアに来たいが、宿泊場所がないと困っている方があったら、宿泊先の大股公民館を紹介して欲しいとの要望でした。また、運営スタッフを募集しているので、地元の方の協力をお願いしたい。なお、大船渡市へのボランティアの方の宿泊も出来るそうです。

大股地区公民館の施設や申込先は下記の通りです。

◆ 宿泊施設：

約 100 人可能（大ホール、研修室などのフロアに限る）

※男女別水洗トイレ、洗濯機、物干し場、調理室、地元新聞 2 紙閲覧コーナーなどあり。

テント：

20 張以上可能（野外水道あり）

◆ アクセス（陸前高田方面からの場合）：

陸前高田市災害ボランティアセンター前の国道 340 号を北上、107 号との交差点を左折、107 号を道なりに進み、

397 号との交差点を奥州市方向へ左折、3 つ目のトンネルを抜けた右手。

陸前高田市災害ボランティアセンターから距離約 19 キロ。

◆ 基本的利用法

陸前高田市災害ボランティアセンターでボランティア登録をした後、住田町基地で入営手続きをする。

◆ 【連絡先】

080-2820-2058（住田町基地）／ 090-1344-5763（陸前高田市災害 VC）

5月6日の事務所 写真の修復作業



大船渡町の中央通や地の森、盛町田茂山 2 区地内から探し出した思い出の写真の修復作業を行った。

夢ネット大船渡の副理事長の西村さん、そして1週間前から応援に来ていた大船渡写真クラブ事務局長の鈴木靖博さんを中心に、社協のボランティアセンターからの3名の方々が応援に来てくれ、写真の修復作業を行った。

いよいよ独立事務所へ引っ越し 5月13日午後1時30分

福祉の里：YSセンターの一室を借りて、4月6日から開設して来た気仙市民復興連絡会の事務所は、YSセンターが地震の被害も大きいことから、愛知ネットの後押しにより、コンテナハウスを設置する。

場所は、末崎町字石浜 34-1（東海新報社前の交差点を細浦方面へ下って、船河原のJRガードの約 100 ほど手前です）、近く電話も設置して、長期復興支援を行う基地です。